

燕・弥彦地域公共交通網形成計画（素案）の質問・意見及び回答

資料 2

1 燕市議会での意見等

平成 30 年 12 月定例会 議員協議会 平成 30 年 12 月 21 日（金）開催

No.	素案 ページ	質問・意見	回答	対応（検討）状況	計画 修正 の有無
1	30	費用の面で、自己負担率が 20%程度になっている。 他の自治体を参考にしているのか。	コミュニティ交通に要する経費に対する運賃収入の割合は、約 2 割となっており、この割合が多いのか少ないのかについて、他の自治体の状況はまだ調べておりません。 総体的に見直しを進める中で他市との比較、あるいは受益者負担の考え方等と照らし合わせて、今後、検討していきたいと考えております。	燕市議員協議会で回答したとおりとします。	無
2	48/51/54	アンケートでも運行本数が増えてほしいという意見があるが、本数が増えた場合、利用する回数が増えるということを考えているのか。	利用者に対するアンケートから一般的に考えれば、サービスが向上して、利便性が増せば、利用が増えると考えております。 今後、後期高齢者の年齢層が増えていき、それに伴って、車の運転ができなくなる方や運転免許を返納される方が増えてきます。 今後もそういったニーズを汲取りながら、新しい路線の検討を進めてまいります。	燕市議員協議会で回答したとおりとします。	無

燕・弥彦地域公共交通網形成計画（素案）の質問・意見及び回答

No.	素案 ページ	質問・意見	回答	対応（検討）状況	計画 修正 の有無
3	68	運行本数を増やせば個人の利用回数が増えるという意味なのか。	今まで公共交通、特にバスを使って来なかった方々は自家用車を利用される方が大半です。 そのような方々を公共交通に誘導して、利用者の底上げをしていきたいと考えております。	燕市議員協議会で回答したとおりとします。	無
4	69	電車を利用している方は、本数が増えればありがたいが、1日1往復利用している人は、本数が増えても2往復にはならない。車利用している人が、本数が増えるからと言って利用するとは限らない。課題がいっぱいあると思う。乗継ぎの待つ時間もある訳で、待つ場所がみんな快適な場所とは限らない。 今後、屋根のない所も整備していくのか。	バス利用における環境改善については、誰もがバスを利用できるようにバスやバス停等の環境改善を推進します。 この中で、バス待ち環境の整備については、各場所のスペースや利用人数等を調査分析しながら、ある程度利用が多く、場所的にも可能であれば、ベンチや上屋の整備を行ってまいります。	燕市議員協議会で回答したとおりとします。	無
5	71	財政の面で、利用料金の見直しの記述があるが、今後、利用料金はどのように考えているのか。 人口が増加すれば、増やしていくのもよいが、人口減少が分かっている中で、今後燕市と弥彦村が連携してどのように考えていくのか。	30ページに記載したとおり現状では運賃収入は2割、残り8割を公費で負担しています。 人口がこれから減っていく中で、それが適正かどうか、あるいは、今後運賃収入の増減はどうか、利用料金を据え置く場合、運賃収入が増えていくのか減っていくのかなどの推移も考慮して料金の見直しを検討してまいります。	燕市議員協議会で回答したとおりとします。	無

燕・弥彦地域公共交通網形成計画（素案）の質問・意見及び回答

No.	素案 ページ	質問・意見	回答	対応（検討）状況	計画 修正 の有無
6	73	PDCA のチェックについて、交通会議において、チェック機能はどのようになっているのか。チェック体制について、専門のチェックする人がいるのか。	<p>公共交通会議の中で、現在運行している「やひこ号」や「きららん号」などについて毎年度評価を行い、目標数値に対して自己分析したものを会議にお示ししております。</p> <p>その場でご意見をいただきながら、最終的に国に報告することが義務付けられておりますので、会議での意見を踏まえて、それを国に提出しております。</p> <p>また、専門の人ではありませんが、公共交通会議のメンバーには、運輸局、大学教授、交通事業者、住民代表等の方々があり、それぞれの視点から審議をいただいております。</p>	燕市議員協議会で回答したとおりとします。	無
7	73	「評価の方法及びスケジュール」の表の上から2番目の利用者アンケートについて、2021年の所だけ「必要に応じて」実施の1重丸となっているが、「必要に応じて」とはどういうことか。	<p>今年度は計画策定のため4種類の大掛かりなアンケート調査を実施しました。</p> <p>同じ規模で毎年実施することは厳しいので、中間年の2021年に丸をつけさせていただきました。</p>	燕市議員協議会で回答したとおりとします。	無
8	73	「評価の方法及びスケジュール」の表の下から2番目、計画・目標の見直し、ここだけが星印になっている。5年間で星印が1つになっているが、最終年度に計画の見直しをやると理解していいのか。	<p>計画の全体につきましては、この5年目で総括的に見直すことで考えております。</p> <p>それ以外に、個々の事業「スワロー号」「やひこ号」「きららん号」やバス待ち環境の整備などの事業レベルでは毎年チェックをして進捗管理をしまいたいと考えております。</p>	ご意見を踏まえて、修正いたしました。	有 新旧 対照表 No. 16

燕・弥彦地域公共交通網形成計画（素案）の質問・意見及び回答

No.	素案 ページ	質問・意見	回答	対応（検討）状況	計画 修正 の有無
9	73	<p>PDCA サイクルについては民間企業もやっている。これは、効果がある。下の表「評価の方法及びスケジュール」で、会議の開催が毎年2重丸の「実施」になっているが、その回数と会議の主要な内容をお聞きしたい。</p>	<p>燕・弥彦地域公共交通会議の回数につきましては、今年度はこの計画策定がありますので、年間6回を予定しておりますが、通常の年であれば、大体3回程度開催しております。</p> <p>内容としては、公共交通会議に係る予算決算、翌年度の事業計画、「スワロー号」「やひこ号」「きららん号」の乗車人員等のデータの実績報告をして、改善に向けてご意見をいただくというような内容でございます。</p>	<p>燕市議員協議会で回答したとおりとします。</p>	無
10	その他	<p>立地適正化計画では、コンパクトシティを目指すための居住空間は駅から800m圏内といったこともあったかと思うので、そういったことも住民に説明してほしい。また、高齢化が進んでいったときに、そこから外れたようなところにも配慮しながら、計画が策定された時に住民に説明して行ってほしい。</p>	<p>ご指摘のとおり圏域住民の方々に説明していきたいと考えております。</p> <p>この計画について住民に説明するというのもありますが、例として、バスの新規路線を開設したり、社会実験をしたりする場合などに、その沿線に住まわれている住民の方々等に具体的に説明に伺いたいと考えております。</p>	<p>燕市議員協議会で回答したとおりとします。</p>	無

燕・弥彦地域公共交通網形成計画（素案）の質問・意見及び回答

No.	素案 ページ	質問・意見	回答	対応（検討）状況	計画 修正 の有無
11	その他	<p>アンケート調査の結果から 6 割ぐらいは満足している一方で、5%、10%の不满があるところにフォーカスすべきだと私は思うが、計画が目指すところについて、例えば 7 割、8 割まで満足させるという考えはあるのか。</p>	<p>今年度までの交通計画は、満足度を指標としておりましたが、公共交通を使われない方も無作為抽出したアンケート調査では、結果として満足度が下がってきています。</p> <p>推測の部分でございますが、公共交通を利用されていない方が感覚で、満足か不満かに印をつけるとなると、利用されていない方は利便性が悪いから不便だという考え方に繋がるのではないかと考えて、本計画案ではその指標を外しております。</p> <p>その代わりに実際利用されている方に、満足度の調査を行っておりますので、今後もアンケート調査を行いつつ、実際利用されている方の満足度を上げていくように検討してまいりたいと考えております。</p>	<p>燕市議員協議会で回答したとおりとします。</p>	<p>無</p>

燕・弥彦地域公共交通網形成計画（素案）の質問・意見及び回答

2 弥彦村議会での意見等

平成 30 年 12 月定例会 議員懇談会 平成 30 年 12 月 17 日（月）開催

No.	素案 ページ	質問・意見	回答	対応（検討）状況	計画 修正 の有無
1	68	<p>きららん号の運行見直し検討とあるが、具体的に どんな見直しを検討しているのか。</p> <p>家族も利用させてもらっており、大変助かっている。 使い勝手の悪くなるような見直しにならないよう 要望する。</p>	<p>現在、お示しできる具体的な案はございません。 この計画期間で利便性を向上できるよう 71 ページ の利用料金の見直し検討と併せて、進めてまいります。</p>	-	無

燕・弥彦地域公共交通網形成計画（素案）の質問・意見及び回答

3 パブリックコメントでの意見等

(1) 意見の募集期間

平成30年12月21日（金）から平成31年1月10日（木）まで

(2) 意見の提出

人数...3人、件数...4件

No.	素案 ページ	質問・意見	燕・弥彦地域公共交通会議の考え方	対応（検討）状況	計画 修正 の有無
1	67	首都圏からの高速バスを岩室温泉は運行しているそうです。是非、弥彦にも停車できるようお願いいたします。観光客の人にとってももっと気楽に乗れると思います。吉田駅の乗り換えで30分も待たされませぬ。	<p>本計画は、圏域住民の生活に必要なバス等の確保や利便性の向上を図ることを目的として策定するものです。</p> <p>現在、首都圏と岩室温泉の間を民間事業者が運行している高速バスの弥彦停車に関しては、生活交通としてではなく、観光振興の観点から検討すべき事案であると考えますので、本計画においては、生活交通の役割を持つ高速バスについては、維持・改善を要望してまいります。</p> <p>また、鉄道との接続については、鉄道の利便性向上を進めるにあたり、接続改善を検討してまいります。</p>	-	無

燕・弥彦地域公共交通網形成計画（素案）の質問・意見及び回答

No.	素案 ページ	質問・意見	燕・弥彦地域公共交通会議の考え方	対応（検討）状況	計画 修正 の有無
2	68	<p>共通のバス、乗合タクシーが走っていますが、あまり利用されていないように思います。日常生活には便利で使いやすいものでないと億劫になります。また、2区間にかかると乗り換えが必要、料金も再度必要等、使う人にとっては心理的にも物理的にも面倒が先に立ちます。乗車は運行ルート内であれば、手を挙げて乗れるようにし、下車は乗るときに降りる場所を告げて自由にしてほしい。人の少ない田舎でこそできることであり、必要なことだと思います。</p>	<p>21ページと24ページに記載してあるとおり、コミュニティバスの利用者は増加傾向にあり、デマンド交通の利用者は毎年安定して推移しています。</p> <p>また、利用料金については、他の公共交通と比べても、低く抑えており、日常生活における移動手段として定着しているものと認識しています。</p> <p>乗り換え等が面倒といったご意見ですが、スワロ一号とやひこ号の路線を一本化すると、1便の運行時間が長くなってしまい、現在の便数が減少して、利用者の利便性が低下してしまう恐れがあります。</p> <p>今後、乗り継ぎの改善やバス待ち環境などの改善により、乗り換えがしやすいようなバス利用環境を目指してまいります。</p> <p>「フリー乗降」は、現在、やひこ号では、車両通行量の少ない村道3区間において実施しております。</p> <p>路線全てをフリー乗降にすることはできませんが、フリー乗降区間の増設については、やひこ号の運行路線の見直しを進める際に検討してまいります。</p>	-	無

燕・弥彦地域公共交通網形成計画（素案）の質問・意見及び回答

No.	素案 ページ	質問・意見	燕・弥彦地域公共交通会議の考え方	対応（検討）状況	計画 修正 の有無
3	68	<p>現在、やひこ号の路線が山岸・山崎・矢作・荻野・平野・紛穴地区は、経路から外れているので、路線の追加変更をお願いしたい。</p> <p><理由></p> <p>矢作、紛穴、平野、荻野地区の高齢者の方で、自動車の運転ができない人は、家族が休みの日だけ連れて行ってもらう。自分で行く場合のタクシー料金は少ない年金で大変だと聞きます。きららん号を利用してはとお話しすると、複数人での事前予約が必要、自己都合のキャンセルはしにくい、急なときの利用は難しいとのこと。現状では停留所の役場までは遠くて、とても徒歩では行くことができないと言う。支援センターの風呂は、老人クラブの月1回「お楽しみ会」だけで、もっと温泉を利用したい。巡回バス廃止で唯一の楽しみがなくなったという声も多い。おもてなし広場も行きたいとの声も多い。フリー乗降希望も多いです。路線の変更ができれば、以前の村内巡回バスの復活を願う人が多い。</p>	<p>やひこ号の運行再編及びコミュニティバスの新規路線の開設の調査・研究を行う際のご意見・ご要望として検討してまいります。</p>	-	無

燕・弥彦地域公共交通網形成計画（素案）の質問・意見及び回答

No.	素案 ページ	質問・意見	燕・弥彦地域公共交通会議の考え方	対応（検討）状況	計画 修正 の有無
4	69	<p>障害者用（盲導犬引率者、松葉杖使用者）優先シート の整備（ビニールシートカバー付き）の推進</p> <p><理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・混雑しているときに盲導犬引率者が乗車されてきて最後部の座席に着席されるより入口近くに優先座席があれば乗客も支援しやすいし安全安心。 ・松葉杖使用者への誹謗中傷はしませんが、座席汚濁と悪臭が発生したりしている現状はビニールシートカバー等の設置で改善できるように思います。 	<p>本意見については、現在のバス運行に関する意見として受け止め、障がいのある方に対する優先シートの整備については、犬が苦手な方や松葉杖使用者にも配慮した上で、バス事業者とも協議し、検討してまいります。</p>	-	無

燕・弥彦地域公共交通網形成計画（素案）の質問・意見及び回答

4 燕・弥彦地域公共交通会議での意見等

平成 30 年度第 5 回燕・弥彦地域公共交通会議 平成 30 年 12 月 20 日（木）開催

No.	素案 ページ	質問・意見	回答	対応（検討）状況	計画 修正 の有無
1	65	評価指標について、成果指標の中に圏域住民 1 人当たりの利用回数とあるが、こちらは圏域住民だけ算出しているのか。それとも住民以外の観光客等も含んでいるのか。	圏域住民 1 人当たりの鉄道 5 駅の年間利用回数につきましては、※印の記載にありますように、年間輸送人員÷年度末総人口で算出します。 年間輸送人員につきましては、JR が毎年発表されている数字を基にしていき、圏域住民に限らず来訪者の方の人数も含まれてくると解釈しております。	燕・弥彦地域公共交通会議で回答したとおりとします。	無
2	66	66 ページの方針 3 の 1～3 について、69 ページに細かく書かれている詳細と順番が不整合になっている。	ご指摘のとおり、修正いたします。	ご指摘いただいたご意見に沿って、修正いたしました。	有 新旧 対照表 No. 11
3	67～	重要なのは計画に基づいて何をしていくのかだと思う。具体事業が 67 ページ以降に並んでいるが、「検討」で終わっているものが散見される。具体的な事業内容を書き込むことになっているので、検討を進めて、事業が具体化された段階で適時、計画の変更を考えていただきたい。	ご指摘のとおり、進めてまいります。	ご意見を踏まえて、修正いたしました。	有 新旧 対照表 No. 16

燕・弥彦地域公共交通網形成計画（素案）の質問・意見及び回答

No.	素案 ページ	質問・意見	回答	対応（検討）状況	計画 修正 の有無
4	69	<p>方針3の「3. 4 モビリティマネジメントの推進」の施策案にある「◆公共交通利用説明会、乗り方講座等の開催」は、行政側から一方的な感じに受け取れるので、もう少し双方向で、住民の方のイメージが湧くような施策が入れられると、理解が広まり、より住民の方が自ら公共交通を使っていこうという方向に向かうのではないかと。</p>	<p>ご指摘いただきました双方向への意味合いを出すような施策について、再度検討させていただきます。</p>	<p>ご指摘いただいたご意見に沿って、修正いたしました。</p>	<p>有 新旧 対照表 No. 13</p>